

事業番号	132
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	認知症見守りネットワーク構築事業					担当部	健康福祉部			
	会計区分	一般会計		事業類型	一般	担当課	長寿介護課				
	事業期間	平成21年度		～	平成30年度以降		担当係	長寿福祉係			
	総合計画 分野別計画	主目的	3 保健福祉	13 高齢者福祉	2 高齢者の地域での生活を支援する						
		副目的									
	予算区分	款	3	項	2	目	1	大	3	中	10
	根拠法令・個別計画										
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	認知症高齢者やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるようにする。									
	内容 (手段)	<p>認知症に対する知識の普及・啓発を図るとともに、地域ごとに地域包括支援センターを拠点として地域住民、事業所、商店、医療機関などの地域資源を活用し、認知症の方に対する見守りのネットワークを構築し、支援を行う。</p> <p>(実施内容) 認知症対応コーディネート推進協議会 3回 認知症サポーター養成講座 47回</p> <p>◆24年度直接経費の内訳 認知症サポーター養成講座に伴う消耗品 123千円 委員謝礼 46千円 認知症見守りネットワークケータイ連絡網利用料等 93千円 その他消耗品費等 194千円</p> <p>◆25年度直接経費の内訳 認知症サポーター養成講座に伴う消耗品 440千円 委員謝礼 324千円 認知症見守りネットワークケータイ連絡網利用料等 349千円 その他消耗品費等 504千円</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	2,629	502	456	1,617	
		正職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10	0.10
			人件費	千円	533	533	533	533
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	3,162	1,035	989	2,150		
対前年比	%			32.7	95.5	217.3		
財源	一般財源	千円	533	1,035	989	2,150		
	国・県支出金	千円	2,629	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	認知症サポーター養成講座	回	目標		56	57	48
実績				54	47	45	
ネットワーク登録者数(メール・FAX)	人	目標		300	504	780	900
		実績		480	717	885	
績	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25
			認知症サポーター	人	目標	—	—
			実績	3,616	5,175	6,304	
ネットワーク登録者数(メール・FAX)	人	目標		300	504	780	900
		実績		480	717	885	

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	認知症高齢者やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるように事業を推進しており、認知症サポーター、ネットワーク登録者数ともに、大幅に増加した。				
		事業実施における課題	認知症サポーター養成講座を受講していただいた方の活用方法。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	今後は、認知症高齢者等が増加すると見込まれるが、認知症に対する知識の普及が進まなくなり、認知症高齢者が在宅生活の継続を図る上で必要な地域住民の支援や協力が得られない。				
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	認知症見守りネットワークの普及拡大を図り、認知症サポーター養成講座を受けていただいた方に認知症の方に対し直接的支援を行えるようフォローアップ研修を行っていく。また、近隣市町に認知症の徘徊が発生した時に協力を得られるように依頼、打合せを行っていく。				
平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)				
	判定理由	今後の高齢社会において、住み慣れた地域社会の中で引き続き生活することを支援するために、認知症に対する知識等の更なる普及が必要であるため。					
	26年度以降の改善案	認知症見守りネットワークの普及拡大を図るために、PR活動を行っていく。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。